

事務事業評価シート(平成19年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名
08110	保育園給食事務	教育委員会	こども係	白鳥義政	原 照代
		一次評価年月日	平成 20 年 7 月 31 日	連絡先(内線)	2504
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		事業コード	事業名(歳出予算見積書)
		<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	0371	保育園運営事務	
	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	0374	児童福祉施設事務		
	第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ	章	(コード選択)	2章	安らぎと優しいのある社会
		節	(コード選択)	1節	地域で支える思いやりのある福祉を充実する
		項[基本施策]	(コード選択)	212	子育て支援の推進
主な取り組み		(コード選択)	2121	保育サービスの充実と施設整備	
関連する計画等への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 第四次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他	
事務期間	(開始) 年度 ~ (終了予定) 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 開始時期不明	<input checked="" type="checkbox"/> 終期設定なし		

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。)[Plan2]

①対象(〜に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

保育園に在園している園児全員

②目的(意図)(〜という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

給食の内容を充実し、入園児童の処遇向上を図る。

③手段(事業内容)(〜を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 園児に暖かくおいしい給食を提供する。
- 毎月の献立表、給食日より等で食の大切さを知らせる。
- 食物アレルギーのある園児に対しては除去食を提供する。
- 献立検討会、献立反省会を開き献立等について話し合う。

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。[Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		18年度	19年度	20年度(見込み)	21年度(見込み)	22年度	年度(見込み)	
①	指標名	給食の提供	日	292	292	292	292	292
	説明	年間給食日数	目標値設定の根拠	保育日数=給食日数				
②	指標名	献立の検討、反省	回	26	27	27	27	27
	説明	検討、反省会の回数	目標値設定の根拠	実施年度から推計				

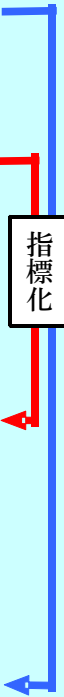
(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。[Do2]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		18年度	19年度	20年度(見込み)	21年度(見込み)	22年度	年度(見込み)	
①	指標名	給食を提供した園児、職員数	人	547	563	542	542	542
	説明	園児・職員数	目標値設定の根拠	実施年度から推計				
②	指標名	研修、研究会に参加	回	7	7	7	7	7
	説明	調理員研修回数	目標値設定の根拠	県、郡等で行われる研修会に出席する				

(5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算)	=①+②	(千円)	53,736	55,574	57,584	57,584					
対前年比		%		103.4	103.6	100					
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)		(千円)	3,696	3,696	3,600	3,600					
B) 一般財源(税金)		(千円)	50,040	51,878	53,984	53,984					
①事業費		(千円)	27,634	27,634	29,286	29,286					
対前年比		%		100	106	100					
②人件費の概算		(千円)	26,102	27,940	28,298	28,298					
対前年比		%		107	101.3	100					
	課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費		
	H19 H20 H21	H19 H20 H21	H19 H20 H21	H19 H20 H21	H18 H19 H20 H21	/	/	/	/		
町職員(正規職員)	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	2.38 2.40 2.40	2.38 2.40 2.40	14695	15051	15030	15030		
臨時職員	人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート					6.00 6.00 6.00	7.00 0.00 0.00	11407	12889	13268	13268



(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	B	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	B	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある →
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある →
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった → D 成果が少なく今後も向上する見込みがない →
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	C	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある → C 今後も可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	C	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり → D かなり余地あり → 給食業務の集中化等が考えられる。
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	B	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり → D かなり検討の余地あり →
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している → C 把握していない 保護者の意見を聞いたり、献立に対する感想を寄せてもらう。

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口を一つチェックしてください。**

- ア. 現状のまま継続する
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(事業改善をした内容と実施時期を記入します。)

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

今後検討委員会を設置して協議・検討し見直しを行う。	20年度予算見積書への反映 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
	[反映内容]

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

子どもの食生活をめぐる問題が大きくなる中で、子どもの健全な育成に重要な役割を果たしている保育園は、その改善を進めていく場として大きな役割を担っている。食の大切さや楽しみを実感することによって、家庭への波及効果をもたらすことも期待できる。家庭や地域と連携し、適切な取組を行うことが必要。	上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック
	<input type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input checked="" type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 口を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止



c 上記 a~e を選択